

表彰委員会を開催

全国漁港漁場協会



平成29年度表彰候補者を選考

(公社)全国漁港漁場協会表彰委員会(委員 長・高橋昌幸北海道漁港漁場協会会長)が、3月15日午前11時45分から1代田区霞が関の商大館で開催され、各都道府県漁港漁場協会から推薦のあった平成29年度表彰候補者等の選考を行った。

その結果、功績者候補として漁港漁場協会役員35名、同職員1名、市町村職員12名を、また、優秀漁港漁場受賞施設機関2機関及び漁港漁場愛護運動等功績団体1団体を表彰候補として選考した。

福岡県市町関係幹部職員研修会

(一社)福岡県漁港漁場協会(会長・佐藤政俊)は、2月16日福岡市のホテルリカ福岡において、水産庁(一社)水産土木建設技術センター、福岡県農林水産部水産局水産振興課の協力の下、第30回福岡県市町関係幹部職員研修会を開催した。

この研修会は、県内各市町の漁港漁場関係幹部職員等を対象としたもので、今回は、29名が参加した。

研修会では、水産局長が挨拶を述べ、謝辞等が授与される予定。表彰委員会の出席委員は、同日開催された第3回理事会において、高橋委員長より報告された。後日、全国漁港漁場協会会長から表彰対象者等事、小田政司理事、藤本昭天理事



研修会の様子

について、福岡県水産振興課から福岡県の漁場整備事業について詳しく具体的な説明がなされた。

研修会では、午後1時30分から、福岡県漁港漁場協会佐藤会長の挨拶、福岡県水産振興課水産部長の挨拶の後、研修に入り、午後4時30分までの長時間であったが参加者は熱心に聴講した。

【内容及び講師】
「新たな漁港漁場整備期長崎支所長、人工魚礁の利用状況と経済効果」
「漁港漁場整備期長崎支所長、人工魚礁の利用状況と経済効果」

漁港漁場関係者研修会

和歌山県漁港漁場協会(会長・山根良男)は、2月16日(水)、和歌山市内の和歌山県民文化会館において、出席者約40名が参加して、研修会を開催した。

研修会では、主催者代表として、浅見高史・県漁港漁場整備課長が挨拶し、出席者は熱心に聴講していた。

今年度は、水産庁漁港漁場整備部から、整備課長が講師として出席した。

和歌山県漁港漁場協会(会長・山根良男)は、2月16日(水)、和歌山市内の和歌山県民文化会館において、出席者約40名が参加して、研修会を開催した。

漁港漁場関係者研修会

和歌山県漁港漁場協会(会長・山根良男)は、2月16日(水)、和歌山市内の和歌山県民文化会館において、出席者約40名が参加して、研修会を開催した。

研修会では、主催者代表として、浅見高史・県漁港漁場整備課長が挨拶し、出席者は熱心に聴講していた。

今年度は、水産庁漁港漁場整備部から、整備課長が講師として出席した。

漁港往來

自2月1日
至2月28日

2月2日(水)
全国漁港漁場協会福岡本会長は、千葉県へ出張した。

漁村女性セミナー開催

平成28年度

全国漁港漁場協会



関係者約60人が参加した

(公社)全国漁港漁場協会は、2月28日(火)午後1時より、東京都千代田区西船橋においで、平成28年度漁村女性セミナーを、全国の漁村女性をはじめ関係者約60名の参加を得て開催した。

今年度のセミナーは、テーマを「漁村女性の活動・魚食普及活動」とし、3名による講話と併せて、平成28年度漁村女性セミナーを、全国の漁村女性をはじめ関係者約60名の参加を得て開催した。

話題提供の内容は、専門家からの「農業分野における少産産産される地域特産産産を流通させた山形県の事例紹介」と漁村女性による「地域における魚食普及活動の紹介」である。

話題提供の議題及び発表者は次のとおり。

①魚食普及活動の現状と今後の方向性(食を流通につなげる)・・・東海大学海洋学部教授 関いすま(山形県内の特定地域における少産産産、絶滅寸前の種が有るストラウソンの結び付きによって産産が再生された事例、需要が無くなってしまった種について外部からの協力を得ること)次代の世代へ受け渡すことができた事例)自家製野菜の料理を提供する農家民宿の事例などを通して、少量漁獲産産を流通・売却するための第一歩としては、魚食体験や料理教室は有効方法)

おける少産産産される地域特産産産を流通させた山形県の事例紹介」と漁村女性による「地域における魚食普及活動の紹介」である。

話題提供の議題及び発表者は次のとおり。

①魚食普及活動の現状と今後の方向性(食を流通につなげる)・・・東海大学海洋学部教授 関いすま(山形県内の特定地域における少産産産、絶滅寸前の種が有るストラウソンの結び付きによって産産が再生された事例、需要が無くなってしまった種について外部からの協力を得ること)次代の世代へ受け渡すことができた事例)自家製野菜の料理を提供する農家民宿の事例などを通して、少量漁獲産産を流通・売却するための第一歩としては、魚食体験や料理教室は有効方法)

②魚食普及活動について(新潟魚食普及会の活動)・・・新潟県漁協女性部連合協議会会長 丸山チ子(新潟県産の魚の美味しさを調理方法を県内外で紹介する活動を行っており、山間地での料理教室や親子料理教室への協力、首都圏での新潟県産魚類のPR活動を通じて、次世代への魚食の継承と魚消費量の拡大に向けた活動を実践している)

③高知県におけるカツオのたたき体験(食育)による魚食普及・・・高知県漁協女性部連合協議会会長 野野洋子(子供達に魚食が減っていることや魚の食べ方を知った次世代が増えたと感じる感動を持って、浜のおぼやんたちが頑張ろうという活動で活動を開始し、高知県内の小・中・高校を対象にカツオのたたき体験

ながさきSUISAN ウィンタースクール 開催

(一社)長崎県漁港漁場協会は平成29年2月9日「ながさきSUISAN・ウィンタースクール」を長崎市内のホールセントヒル長崎で開催した。

この勉強会は、本県水産業の発展と地域の活性化に資するため、国際社会経済の情勢変化に対応しつつ、水産資源を育み、元気な水産業と漁村の活性化(資源)を目標とし、毎年開催されている。今年度は、本県水産業の発展と地域の活性化に資するため、国際社会経済の情勢変化に対応しつつ、水産資源を育み、元気な水産業と漁村の活性化(資源)を目標とし、毎年開催されている。

クホリテリによる都市と農村の結び付き事例、三重県鳥羽市における「キーコンクホリテリ実践例」(ゆい)の紹介に加え、水産業の将来へと題して、農林水産省政策委員 石坂登氏の特別講演も行われ、漁村女性セミナーの参加者とも熱心に聴講した。

今年度は、同日に(株)産経新聞社主催による「漁村女性セミナー」が、(ゆい)の紹介に加え、水産業の将来へと題して、農林水産省政策委員 石坂登氏の特別講演も行われ、漁村女性セミナーの参加者とも熱心に聴講した。

漁港漁場関係者研修会

和歌山県漁港漁場協会(会長・山根良男)は、2月16日(水)、和歌山市内の和歌山県民文化会館において、出席者約40名が参加して、研修会を開催した。

研修会では、主催者代表として、浅見高史・県漁港漁場整備課長が挨拶し、出席者は熱心に聴講していた。

今年度は、水産庁漁港漁場整備部から、整備課長が講師として出席した。

漁港往來

自2月1日
至2月28日

2月2日(水)
全国漁港漁場協会福岡本会長は、千葉県へ出張した。

漁港整備課長補佐 佐藤広明
*放牧対策について和歌山県農林水産部港湾空海局港湾空海振興課港湾管理班副班主 井谷功
*水産域内固有財産の管理等について和歌山県農林水産部港湾空海局港湾空海振興課港湾管理班主 西木憲生